

## 豊かな人間性を培う学校教育の充実

### －「生きる力」を培う教育内容の充実－



○教委名	吉川市教育委員会
○所在地	吉川市吉川一丁目21番地13
○TEL	048-984-3564
○E-mail	gatakou@city.yoshikawa.lg.jp
○ホームページ	<a href="http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/">http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/</a>

## 1 研究主題

### (1) 研究主題

豊かな人間性を培う学校教育の充実 －「生きる力」を培う教育内容の充実－

### (2) 研究課題の設定について

吉川市は、「信頼」・「連携」・「生き生き」の3つの視点から平成23年度吉川市教育重点施策を推進している。

- ・【信 頼】 児童生徒・保護者・地域・学校の相互の信頼関係
- ・【連 携】 家庭・学校・地域社会の相互の連携
- ・【生き生き】 子ども・先生・学校・地域に元気があり生き生きとしている

特に、学校教育に関わる重点施策を「豊かな人間性を培う学校教育の充実」とし、具体的な内容として、以下の7項目について充実・支援を行っている。

①「生きる力」を培う教育内容の充実 ②教育課程実施への支援と対応 ③学校施設等の整備充実 ④給食内容及び給食施設設備の充実 ⑤健康指導・体力づくりの支援 ⑥人権教育・同和教育の推進 ⑦生徒指導・学校教育相談の充実

児童生徒の学力の向上は、自ら学び・考える力、豊かな人間性、健康や体力など「生きる力」を培うための重要な要素の一つであると考えます。

### (3) 昨年度の学力向上推進に係る取組の成果

○学力向上支援員、少人数指導員の配置で、個に応じた指導の充実や少人数による指導法の研究が充実するなど成果が見られた。

○教職員のライフステージに合わせた研修計画が実施され、生徒指導、学習指導面で向上が図られた。また、授業研究会の指導者として市内の教職員を積極的に依頼したことで指導者としての資質の向上も図られた。

○教育課程検討委員会（学力向上推進委員会）で市内各小中学校の学力向上プランの説明や学力向上への具体的事例資料の交換等を行い情報共有を図ることができた。

## 2 研究の実践

### (1) 学力向上に関わる取組

#### ア 教育内容充実事業

- ・学力向上支援員の配置・学生ボランティアの活用・リリーフティーチャーの配置
- ・各種学習支援員の配置（特別支援員・図書館サポートティーチャー・あおぞら相談員）

#### イ 教育研究会支援事業

- ・教職員で組織された研究会への支援

#### ウ 教育指導推進事業

- ・教職員の資質向上のための研修計画の策定

- ・校内研修、市教委・事務所教育支援担当学力向上推進担当訪問を活用した各学校への指導・支援
- ・市費による学力検査の実施（小学校国語・算数 中学校3年公的テスト）
- ・吉川市各種教育推進委員の任命

エ 教育内容研究授業

- ・体力向上推進研究校 ・学習指導法改善研究校の委嘱

(2) 教職員の資質向上に向けた取組

ア 年次別研修「授業研究」の実施

1年次から4年次までの全教職員に対し、年度1回から2回の授業研究を行っている。基礎基本の徹底、学力向上の視点に立った学習指導方法や授業の基盤である学級経営や学習規律・生徒指導等について指導・支援し資質の向上を図った。また、「若手教員の育成」「自己の指導力の向上」の視点から、指導者を各学校のベテラン教員に積極的に依頼している。

イ 年次別研修「生徒指導研修会」の実施

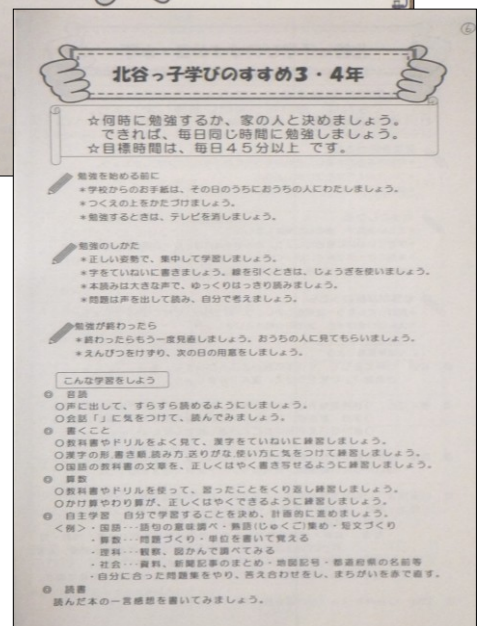
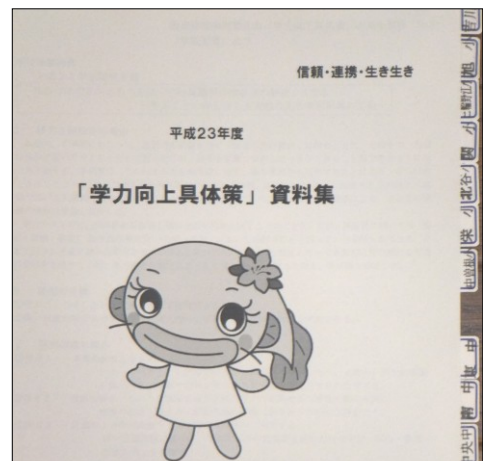
1年次から4年次の全教職員を対象に生徒指導研修会を実施している。各校の生徒指導上の課題を挙げ、解決に向け積極的に行動する態度の育成のために実施している。また、同研修会分科会において、若手教員が直面している生徒指導上の課題について先輩教員が解決に向け助言をする等の協議内容も取り入れている。

(3) 教育課程検討委員会から

吉川市では本検討委員会が学力向上推進委員会を兼ねた取組を行っている。

平成22年度は、各小中学校から児童生徒の学力向上への効果的な事例について、研究協議を行った。「水彩絵の具の使用法（図工）」や「直接的な経験を通じた学習活動の展開の工夫（音楽）」「食探検（道徳・総合）」等、各校の特色のある効果的事例の情報交換が実施できた。

平成23年度は、「学力向上具体策（資料集）」を作成し情報交換を行った。○研修の窓（校内研修日より）の紹介、○ノートづくりマスターブックの紹介、○3つの達成目標確認票の紹介、など各校の工夫された実践が発表された。



3 研究の成果

- ・各小中学校で、教職員の意識が高まり、児童生徒の学力向上への取組が効果的に行われている。
- ・少人数指導体制に工夫・改善があり、特に個に応じた指導、きめ細やかな指導に充実が見られる。
- ・各小中学校で作成された課題解決プランの効果的な活用について、校内研修や教育課程検討委員会での検討が今後必要である。

(右写真：平成23年度「学力向上具体策（資料集）」表紙と内容の一部)